

糸満市地域公共交通会議 令和元年度第2回会議 議事録

【開催日時】:令和元年 11 月 19 日(火)15:00～17:00

【開催場所】:糸満市役所 3-C 会議室

【出席者】:25 名(別紙1 糸満市地域公共交通会議委員 名簿)

I. 道路運送法に基づく地域公共交通会議

報告事項(1) 糸満市地域観光交通試験運行利用状況

■いとちゃん mini の運行形態について

【松浦委員】いとちゃん mini の運行形態について教えて頂きたい。

【事務局】市内にいとちゃん mini のバス停を 165 ヶ所設置しており、利用者は予約センターへ電話して希望する乗車バス停と降車バス停、乗車時間を伝え、乗車予約をする。乗車希望者の予約状況に応じてバスの運行ルートが決定するというシステムである。予約した方の時間帯や行先等が重複する場合に、乗合が発生するデマンド運行方式をとっている。

■試験運行の期間集計結果について

【慶田委員】資料 2 の報告は、平成 30 年度の試験運行結果ということでしょうか。18P の期間集計は 10 月～3 月までの半年しか集計されていないが、1 年間の集計は行っていないのか。

【事務局】17P 及び 18P はデマンド運行の結果ではなく、平成 30 年 10 月より運行を始めた定期路線運行(廃止した国吉線の一部代替)の結果を掲載している。

【玉城委員】収支率の算出方法について教えて頂きたい。

【事務局】収支率は運賃収入を運行経費で割って算出している。なお、資料 2 の 3P では、平成 28 年度の収支率が 9.9%となっているが、運行経費全体の 9.9%を運賃収入で賄うことが出来たということである。

【徳元委員】いとちゃん mini の利用状況として、糸満地区から三和地区及び三和地区から糸満地区の移動が多い理由として、どのようなことが考えられるのか。

【事務局】資料 2 の 10P に全バス停の乗降人数を示しているが、最も利用の多いバス停がサンエーしおざきシティ、その他上位も生涯学習支援センターや糸満市役所等、糸満地区にある商業施設や公共施設が多い傾向である。また、三和地区からの移動が多い理由をアンケート結果から推測すると、三和地区は高齢化率が高く、自家用車や免許を保有している方が少ないことから、公共交通のいとちゃん mini をよく利用されていると考えられる。

【屋嘉比委員】いとちゃん mini のキャンセル理由として、「連絡がとれない」が最も多いが、その内容として、予約した方が予約時間に乗車バス停に来ず、その後連絡がとれないということであるのか。

【事務局】予約した方が時間になっても乗車バス停に来ず、連絡もとれないということである。

【大城会長】連絡がとれなくてキャンセルされた方には、後日確認を行っているのか。

【事務局】次回予約があった時に、キャンセル理由の確認や今後無断キャンセルが無いようにお伝えするようになっている。

■いとちゃん mini の利用者増加に対する課題の改善案について

【三宅委員】いとちゃん mini の利用者が増加していることは素晴らしいことであるが、予約お断りが増えている状況であり、お断りが増えると使い勝手が良くないことから利用者が離れて行くことが懸念される。この状況に対して、市としてどのように改善して行くか考えがあれば教えて頂きたい。

【事務局】2021 年 3 月まで試験運行中であるため、今後、方針や改善案を検討して行く考え。

■いとちゃん mini の運行収支と運行継続の判断について

【源河委員】平成 30 年度のいとちゃん mini の運行収支について、収入が約 500 万円で、支出が約 2,900 万円となっており、約 2,400 万円のマイナスである。収支率は 16.5%であるが、いとちゃん mini 運行継続の収支率の目安はあるのか。

【事務局】収支率による数値目標は定めていない。なお、収支率は様々ある運行継続の判断材料の一つであると考えている。

【源河委員】いとちゃん mini の継続性について、真剣に議論する必要があると思う。

【事務局】一般的に収支率の目安は 3 割前後と言われているが、今後の試験状況を見て検討したいと考えている。

Ⅱ. 活性化再生法に基づく法定協議会

報告事項（１）平成 30 年度に検討した将来ネットワークの方向性（案）

■将来の新交通システムの方向性の考え方について

【宮城委員】資料 3 の 6P について、長期的には那覇～豊見城～糸満に至る交通システムの導入を検討する必要があるということで、導入に向けた考え方が示されているが、16P に示されている全ての流動まとめでは、市内の移動ニーズが最も大きいと思われる。長期的に那覇～豊見城～糸満に至る交通システムを導入するという考えに至るまでのプロセスを説明して頂きたい。結論として那覇との接続が重要なことは理解できるが、市内移動のニーズとのバランスも含め、何故必要なのかという説明をして頂きたい。

【事務局】資料 3 の 6P の将来都市構造図は糸満市の都市マスタープランからの計画を抜粋しており、ここでは、まちづくりにおける公共交通の位置付けが明記されている。一方、16P の全ての流動まとめについては、パーソントリップ等で調査された結果ではなく、昨年度実施した市民アンケートからの結果を整理しており、これが全ての糸満市民の動きを表している訳ではない。それぞれ、整理する上でのデータの出典が異なっているため、一見、矛盾している様に捉えられる部分もあるが、糸満市の網形成計画では、まちづくりの観点から新たな交通システムも含めた公共交通について、全体のネットワーク形成をどのように考えるか、議論及び検討して頂きたい。

報告事項（２）計画目標の設定、具体的な施策事業の検討に向けた幹事会開催報告

■計画目標の設定、具体的な施策事業の検討に向けた幹事会の総括について

【島田副会長】前回議論したポイントは事務局から説明があった通りだが、網形成計画は、市全体の長期的な人の流れを作る重要な計画である。幹事会は、市役所の各課課長や観光協会、商工会の事務局長等、この計画を主体的に推進するメンバーで構成されている。計画を実効性のあるものにするためにも、幹事会の存在意義は大切であり、今後も議論を深めていきたい。

■いとちゃん mini の予約お断り理由について

【慶田委員】いとちゃん mini の予約お断り理由として、資料 4 では予約者の行先が分散して少人数での運行となり、乗り合いが出来ていない（移動の集約化が出来ていない）ことが予約お断りの原因という説明であった。一方、資料 2 ではお断り理由として「満車」が 70%という説明があったが、資料 2 と資料 4 では整合性が合わないのではないかと。

【事務局】資料 2 の説明において、「満車」という表現が適切ではなかった。定員 10 人の車両に対して、乗車人数が 2、3 人で乗車定員に達していなくても予約の行先が異なれば「満車」としているため、移動の集約化が出来ていないことが予約お断りの理由として正しい表現である。

■新交通ターミナルの説明について

【大城会長】新交通ターミナルに関する説明を事務局よりお願いしたい。

【事務局】現段階ではあくまでもイメージで決定ではないが、パース図で説明させて顶きたい。バスターミナルに人が集まる施設を作る必要があるが、この点については検討事項となっている。例えば、パークアンドライドの駐車場やレンタカーステーション、自転車への乗り換え等、多機能性を備えたバスターミナルを作ることによって移動の経由地及び目的地となり、賑わいが生まれ、市の発展に繋がるのではないかと考えている。なお、具体的には今後検討して行く。

審議事項（１）糸満市地域公共交通の課題と基本方針

■南部の観光資源と将来の南部地区の公共交通路線について

【大城会長】資料 5 の 21P の知っている観光資源と公共交通で巡りたい観光資源について、糸満市以外の玉泉洞や瀬長島等が載っているが、将来的には那覇空港～豊見城市～糸満市～玉泉洞までといった路線の公共交通を引きたいということなのか教えて頂きたい。

【事務局】真栄里に建設を予定している新しいバスターミナルを起点として、南部一周線等の公共交通網を構築できれば、南部地区の魅力を高めることが出来ると考えている。今後の可能性を探る為、観光客向けに調査を実施した。

■観光客ヒアリング結果の公共交通利用率について

【屋嘉比委員】資料 5 の 20P の観光客の公共交通利用率について、路線バスが 1.1%であり観光バスは 1.5%でほとんど差が無い結果となっているが、観光バスの利用率はこんなに低いものであるのか。また、どこでアンケートを実施したのか。

【事務局】観光バスは時期や時間帯によって一度に大勢の観光客を観光地へ連れて来るが、アンケート

の実施時期等により今回は観光バスが 1.5%という結果となっていると考えられる。また、観光バスの利用者として、修学旅行やインバウンドの旅行者が多いと思うが、今回のアンケートにおいては修学旅行生やインバウンドの方々を対象としていなかったため、観光バスの利用率が低い結果となったと考えられる。なお、アンケート実施場所は、「ひめゆり平和祈念資料館」、「琉球ガラス村」、「道の駅いとまん」、「サザンビーチホテル&リゾート沖縄」、「ゆいレール那覇空港駅」であり、今回の旅行における交通手段等について質問を行った。

■糸満市地域公共交通の基本方針について

【三宅委員】資料 5 の 27P に体系図がまとめられているが、使い方の視点があっても良いのではないと思う。全体的な発想として、自家用車と公共交通が二律背反しているような印象があるため、日によって公共交通と自家用車の利用を使い分けするような視点が無いと自家用車から公共交通への転換は難しいと思われる。その観点から、網形成計画の 5 や 10 年といった期間でどこまで出来るのかは不明であるが、これからの流れとしてはシェアが挙げられる。車や自転車等のシェアの考え方が網形成計画にあっても良いのではないと思う。

【事務局】様々な移動の選択肢があるのは大切であるため、ご意見頂いた視点も検討したい。

【島田副会長】資料 5 の取組の方向性において、「①すべての人にやさしい公共交通網の形成」のすべての人のイメージはどのような人であるのか。

【事務局】意味合いとしては、交通弱者や市への来訪者を含めすべての人としているが、具体的に誰を指すのかについては考える必要がある。具体的な事業の検討と併せて、次回の会議で審議して頂きたい。



写真：会議開催状況

■第2回糸満市地域公共交通会議 参加者名簿

別紙－1

		氏名	区分	所属	役職	備考
1	会長	大城 郁寛	学識経験者	琉球大学国際地域創造学部	教授	
2	副会長	島田 勝也	学識経験者	沖縄大学地域研究所	特別研究員	
3		小橋川 共隆	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	株式会社琉球バス交通	統計課課長	
4		大城 幸和	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	那覇バス株式会社	業務部部長	
5		名嘉山 敬雄	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	沖縄バス株式会社	運輸部業務課長	
6		大城 盈	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	ラッキー交通合名会社	専務	
7		慶田 佳春	一般乗合旅客自動車運送事業者及びその団体	一般社団法人沖縄県バス協会	専務理事	
8		仲里 隆	一般貸切旅客自動車運送事業者及びその団体	有限会社美ら島	代表取締役	
9		源河 浩次	一般貸切旅客自動車運送事業者及びその団体	結株式会社	代表取締役社長	
10		喜屋武 悟	一般乗合旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体	私鉄沖縄県労働組合連合会	執行委員長	欠席
11		屋嘉比 康人	地域代表者	真栄里自治会	会長	
12		玉城 善治	地域代表者	真壁自治会	会長	
13		徳元 孝進	地域代表者	糸満市老人クラブ連合会代表	糸満市社会福祉協議会会長	
14		屋富祖 民江	地域代表者	糸満市女性連合会	代表	欠席
15		杉本 龍	地域代表者	糸満市 PTA 連合会	会長	欠席
16		久保田 徹	観光関係者	糸満市観光協会	会長	
17		松浦 快奏	産業界関係者	糸満工業団地協同組合	理事長	
18		玉城 春一	産業界関係者	糸満市商工会	会長	欠席
19		三宅 亮	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部企画室長	
20		小谷 和史	運輸支局	沖縄総合事務局	運輸部 陸上交通課長	
21		川崎 聡	道路管理者	沖縄総合事務局	南部国道事務所副所長	欠席
22		新本 陽一郎	都道府県警察	沖縄県 糸満警察署	交通課長	
23		宮城 優	地方公共団体	沖縄県 企画部	交通政策課長	
24		金城 靖	地方公共団体	糸満市	副市長	
25		徳里 仁	地方公共団体・道路管理者	糸満市	建設部長	
26		福元 信美	地方公共団体	糸満市	市民健康部長	
27		徳元 弘明	地方公共団体	糸満市	企画開発部長	
28		大城 拡	地方公共団体	糸満市	経済観光部長	
29		山城 安子	地方公共団体	糸満市	福祉部長	
30		阿波根 庸伸	地方公共団体	糸満市	教育委員会総務部長	

事務局		
1	新垣 行則	糸満市企画開発部 政策推進課 課長
2	大嶺 哲也	糸満市企画開発部 政策推進課 係長
3	新垣 祐滋	糸満市企画開発部 政策推進課
4	當銘 由也	糸満市市民健康部 市民生活環境課 係長
5	上間 淳也	沖縄しまたて協会
6	豊里 博輝	沖縄しまたて協会
7	仲宗根 安弘	沖縄しまたて協会
	計 7 名	

傍聴人		
1	金城 守	沖縄総合事務局運輸部 陸上交通課 課長補佐
2	具志堅 政哉	沖縄県企画部 交通政策課公共交通推進室 主査
	計 2 名	